

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくタッチ		
○保護者評価実施期間	2024年9月17日		～ 2024年10月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年9月17日		～ 2024年10月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々の特性に合わせたSSTプログラム(個別・集団)を考え、取り組んでいる	・個別支援計画に沿った個別のSSTを考え、少なくとも週に1回取り組むことができるよう、日々のプログラムを考えている。 ・子どもたち同士の関わりを増やし、コミュニケーションをとる練習も兼ねて、対戦型の集団活動に加え協力型の集団活動も行っている。	プログラムの立案が一部の職員に偏っているため、全員が意見やアイデアを出しやすくなるよう、話し合いの機会をより増やしていく。
2	・室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	・主に長期休暇時にお出かけやお買い物などの活動を取り入れ、公共でのマナーを知ったりお金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	・現在は職員が考えるプログラムに取り組んでもらう形が多いので、今後は子どもたちが主体的に活動を考え取り組めるような機会をつくっていきたい。
3	・視覚支援の充実	・日々のスケジュールや時間を視覚化し、一人で確認して次の行動にうつることができるよう工夫している。 ・おもちゃをしまう箱に、入っている中身の写真を貼り、一人でも写真のように片付けを行えるようにしている。 ・皆が見える場所に「声のものさし」「お友達や先生との距離感」の視覚支援を貼り、いつでも確認ができるようにしている。	・現在用意している視覚支援でも理解が難しい利用者に向けて、TEACCHプログラムを用いてより分かりやすい視覚支援の作成を進めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信	・現在ブログやInstagram等、情報を発信するツールを使用していない。	・SNSの活用を強化する
2	・避難訓練の周知ができていない	・避難訓練の実施日が事前に伝えられておらず、参加できる利用者が限られてしまう。	・安全計画により防災月間を年2回とし、事前に避難訓練のお知らせを行う。
3			